

SDGs×エネルギー ～持続可能な未来に向けた地域デザイン～

地球規模で進行する気候変動を背景に、環境・社会・企業統治に配慮する企業を重視・選別して行うESG投資や化石燃料関連企業からの投資撤退(ダイベストメント)、自然エネルギー100%を目指す国際的なプロジェクト「RE100」など、今や自然エネルギーの活用は世界各国に共通する重要な課題となり、現実のビジネスや社会にも影響を及ぼし始めています。

今回のフォーラムでは、こうしたエネルギーを取り巻く最新動向とともに、持続可能な未来に向けた自然エネルギーに関する県内事例の最前線をご紹介します。是非ご参加ください。

日時

平成 31年 **3月20日(水)**

13:30～16:40 (受付 13:00～)

定員 150名

参加費無料

※どなたでも参加いただけます。

会場

ピアザ淡海 大会議室

(大津市におの浜1-1-20)

13:30～

開会挨拶・「しがエネルギービジョン」の推進について
(滋賀県 県民生活部 エネルギー政策課)基調講演
13:50～

『自然エネルギーがビジネス・社会を変える』

(自然エネルギー財団 自然エネルギービジネスグループ

マネージャー 石田 雅也 氏)

事例報告
【Ⅰ】
(県補助金
活用事例)① Allmendeキテハ 小型チップボイラ導入による地域創造プロジェクト
(株式会社バイオマスアグリゲーション 代表取締役 久木 裕 氏)

② 伊吹山ソーラーファームプロジェクト

(株式会社伊吹山スロービレッジ 取締役 嶋野 美知子 氏)

15:00～

③ 高純度バイオディーゼル燃料による滋賀発SDGs実践プロジェクト
(油藤商事株式会社 専務取締役 青山 裕史 氏)事例報告
【Ⅱ】

④ 自然エネルギーを活用した地域活性化の推進

(湖南市 地域創生推進課 地域エネルギー室 課長補佐 池本 未和 氏)

15:45～

⑤ ダイキン工業の管水路用マイクロ水力発電事業の展開

(株式会社DK-Power 取締役 石川 吉彦 氏)

⑥ 水素エネルギー社会に向けたパナソニックの取組

(パナソニック株式会社 アプライアンス社

スマートエネルギーシステム事業部 主幹 武部 安男 氏)

16:40

閉会(※16:40～17:00 名刺交換会)